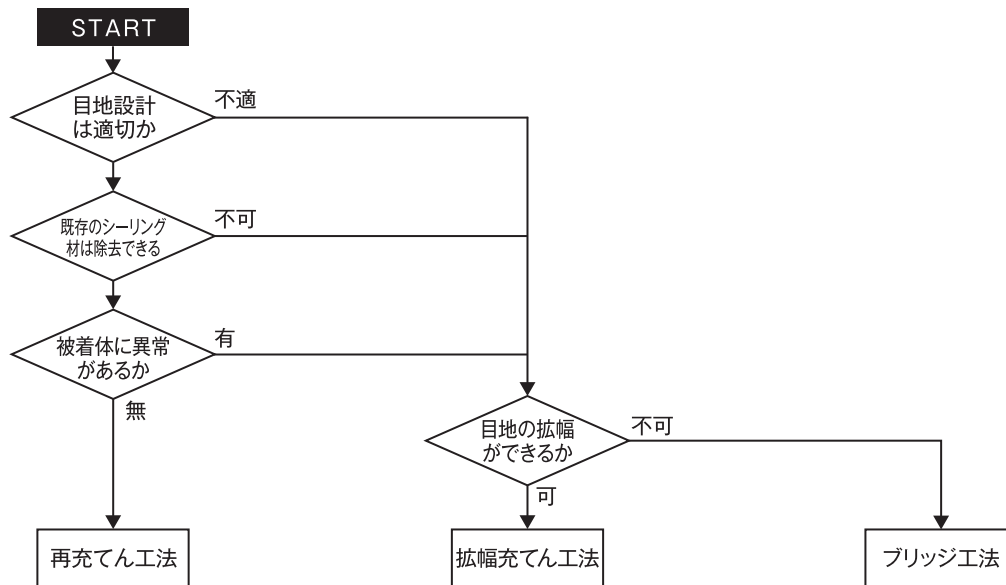


シーリングの改修工法選定フロー



シーリング材の改修工法は、下表の各工法の比較を考慮し、上図のフロー及び下表の選択基準に基づいて選定する。

■ 各工法の比較

工法 \ 項目	性能	作業環境	意匠	工期	費用
再充てん工法	良	良	良	中	普通
拡幅再充てん工法	優	不良	可	長	高価
ブリッジ工法	優	優	不可	短	安価

■ 改修工法選択基準

項目	基準
目地設計	目地寸法 目地形状係数 目地納まり 「JASS 8」に適合すること※
既存のシーリング材の除去	プライマー、油分の残分 被着面として影響のないこと
被着体の状態	油じみ 接着すること
	欠け、割れ 欠け、割れのないこと
	変形 変形のないこと
	仕上材のはく離、軟化等の異常 異常のないこと
目地の拡幅	拡幅の難易 拡幅できること

※建築士事標準仕様書・同解説JASS 8 防水工事(日本建築学会)